APPEAL

発　行　者
JR 東海労関西地本
大阪台車検査車両所分会
２０１４年　３月　７日
NO.６０

ベースアップの満額実施を！！

ベア３、５００円、夏期手当３．５ヶ月は十分可能！！

1　13版　2014年（平成26年）3月6日

トヨタ・日産、ベア満額

12日に回答方針　春闘相場に影響

日産自動車は5日、賃金水準を底上げするベースアップ（ベア）について、4月から月平均3500円引き上げる方針を決めた。今春闘で労働組合から出ているベア要求に対し「満額回答」で、約1%の賃上げとなる。トヨタ自動車も、月4千円の要求に満額で応じる見通し。いずれもベアは6年ぶり。自動車大手の動きは、今春闘の相場形成にも影響しそうだ。

両社は12日に労組に正式回答する。トヨタのベアは2006～08年の月1千円を上回り、00年以降で最高となる。満額回答になれば06年以来8年ぶり。

一時金についても、トヨタは6・8カ月分、日産は5・6カ月分の労組の要求に対し、満額回答する方針だ。

安倍政権は昨年秋から、企業や労組の代表との会合で、企業に賃上げを求めてきた。アベノミクスによる物価上昇を上回る賃上げがないと、4月の消費増税も控え、景気を冷やす恐れがあるためだ。

自動車各社は「社会的責任を果たす」（日産幹部）と賃上げに前向きな姿勢を示してきた。トヨタや日産のベアは、今年度の物価上昇率の見通し（0・7%）を上回る。

自動車業界では、ホンダやミツビシ自動車など、ほかの大手もベア要求への満額回答を視野に詰めている。

一方、日立製作所やパナソニックなど電機大手6社も、月1千～2千円のベアを実施する方向で調整している。ただ、労組が要求した4千円には届かず、業績により各社の回答にばらつきが出る公算が大きい。

製造業大手は12日の集中回答日に向けて、ベアの水準について労使でギリギリの交渉を続けている。

製造業大手でベアの動きが広がる

	ベア要求額	
TOYOTA トヨタ自動車	4000円	◎
NISSAN 日産自動車	3500円	◎
HONDA ホンダ	3500円	○
HITACHI 日立製作所	4000円	○
Panasonic パナソニック	4000円	○
TOSHIBA 東芝	4000円	○
新日鉄住金 新日鉄住金	3500円 14、15年度それぞれ	○

◎は満額回答が見込まれる企業。○はベア方針は固めたものの、金額などは交渉中

第３四半期においては、過去最大の９．６６９億円の営業収益！

「世の中の平均を大きく超えるもの」はもう聞き飽きた！

平均を上まるのは年収１、０００万超の管理職だけ？

私たちは職場の声を訴えていきます！